

# Green Brave

10th Anniversary

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup 第4戦



2022年10月29日(土)~30日(日)  
鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)

## GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

### 吉田選手2位、地頭所選手3位、初のW表彰台を達成！

予選日(土曜日)の天候は晴。金曜日の専有走行では吉田選手が1位、地頭所選手は3位のタイムをマーク。坂戸のファクトリーで実施してきたベースのセッティングがマッチしており、仕上がりは順調です。予選は10時30分より行われ、吉田選手は残り約7分でコースイン。クルマを左右に振ってタイヤに熱を入れ、翌周にアタックを行います。吉田選手はコース逸脱に注意しながらも、ノーマスでアタックを実施。2分26秒575をマークし、4位につけました。吉田選手より、早くコースインした地頭所選手も2分26秒591をマーク。吉田選手のすぐ後ろ、5位につけました。Green Braveにとって、2台そろってトップ5圏内からスタートするのは初めてです。

決勝日(日曜日)の天候も晴。前日より暑く、新たに投入したブリヂストンの新タイヤのパフォーマンスにも期待が集まります。決勝(8周)は10時30分から行われ、吉田選手、地頭所選手ともにポジションキープで1コーナーへ。予選1位の#10菅波選手がスタートで出遅れ、吉田選手の前を走行しています。吉田選手はペースの上がらない#10菅波選手をデグナーカーブでパス。さらに地頭所選手も130Rで#10菅波選手をパスし、吉田選手3位、地頭所選手4位で1周目を終了します。前を走るのは他社製タイヤを装着する#60小河選手。ペースは吉田選手の方が速く、3周目には地頭所選手が2台に追いつき、3台連なって走行します。吉田選手は4周目のデグナーカーブで#60小河選手をパスすると、地頭所もスプーンカーブでパス。吉田選手2位、地頭所選手3位で4周目を終了します。トップを走るのは#7堤選手で、その差は0秒814差。吉田選手は#7堤選手との差を徐々に詰め、7周目にはテールトゥノーズとなりますが、仕掛けることはできず、2位でチェッカー。地頭所選手も3位に入り、チーム初のダブル表彰台を達成。店舗メカニックとモータースポーツ室の技術力を証明しました。次戦(最終戦)は11月19日~20日、岡山国際サーキットで行われます。



#160  
埼玉トヨペット GB BS GR86

吉田 広樹

**決勝：2位**

予選4位 (2分26秒575)

■予選後：最初はタイミングをちょっとずらしてアタックするつもりだったのですが、思っていたより多くの人がピットロードに並びました。自分のペースでタイヤを温められず、前との間隔をあけるのもイヤだったので、あのタイミングでアタックしました。後ろに何台かいましたが、前にはいなかったもので、自分のペースでアタックできました。ミスはなく、攻めきれたと思います。

■決勝後：堤選手に仕掛けて抜きたかったのですが、そこまでのペースはなかったですね。勝てなかった悔しさはありますが、地頭所選手もついてこれたし、チームの強さは証明できたと思います。これまでチームが練習走行で速さを発揮していても、目に見える結果につながっていませんでした。チームもひとつの結果として、自信を持ってもらえると思います。



#522  
GB CAMP BS GR86

地頭所 光

(86GB CAMP)

**決勝：3位**

予選5位 (2分26秒591)

■予選後：昨日からいい流れで、専有走行で自己最高の3番手がとれました。タイヤもいいし、チームもいいセッティングを提案してくれて、どんどんいい方向にクルマが仕上がっていきました。5番手という順位に悔しさを感じるものの、今までの20番手台の予選から考えるとだいぶ進歩したと思っています。吉田さんが前にいるので、リスペクトしながらレースをやりたいと思います。

■決勝後：自分のミスも重なり、後半のチャンスを活かせず、残念でした。ただ、そこで追いついたとしても、トップの2人がうまいので、どこまでいけたのかなという気持ちはあります。もうちょっと追いついて、バチバチなレースをやりたいかったです。小河選手をスプーンカーブで抜いた時、相手の車線を残してクリーンなバトルができました。100点中、90点ですね。

第5戦は 11月19日~20日 岡山国際サーキット(岡山県美作市)

## MECHANIC VOICE

## 【レクサス所沢・丸山瑞生】

初めて Green Brave のレースに参加しました。担当は地頭所選手の522号車の整備です。初めてなので、どうすれば良いのかわからないことが多かったのですが、先輩たちが優しく教えてくれるので、作業をしやすいと思いました。ただ、レースは競技で、時間割が分単位で決まっているので、緊張感が店舗とは異なりますね。時間を守って作業を行うのが大変でした。

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup  
プロフェッショナルシリーズ ポイントランキング

順位	ゼッケン	ドライバー	ポイント
1位	#80	伊東黎明	40
2位	#7	堤 優威	31
2位	#504	富林勇佑	31
4位	#123	松井孝允	30
5位	#293	岡本大地	22
6位	#82	谷口信輝	21
7位	#160	吉田広樹	20

トップ7まで



## PARTNERS



有限会社アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカント合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼群スリーボンド株式会社



株式会社デンソーソリューション



株式会社ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社



ファクトリーギア株式会社



株式会社ブリヂストン



丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ株式会社